

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
自然環境保全基礎調査(植生調査)	昭和48年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	現存植生図、植生自然度、組成調査、優占種調査、環境省統一凡例、ALOS	E-2
自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木林調査)	平成1年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	巨樹・巨木林、幹周、計測調査、情報更新	E-2
自然環境保全基礎調査(哺乳類等生息状況調査)	平成20年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	ヒグマ、ツキノワグマ、シカ、サル、イノシシ、全国個体数	E-2
要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査	平成27年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	ヒグマ、ツキノワグマ、アライグマ、ヌートリア、ハクビシン、マガン、生息分布	B-1、E-2
国際連携による地球規模生物多様性モニタリング体制の構築支援 地球規模生物多様性モニタリン	平成21年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	国際連携、人材育成、生物多様性インベントリー、生物分類学キャパシティ・ビルディング	E-2
沿岸域変化状況把握調査	平成22年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	沿岸域、砂浜、泥浜、海浜植生、改変	E-2
いきものログ	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物	A-1
しおかぜ自然環境調査	平成26年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物、東北地方太平洋沖地震、津波、復興	A-1、D-1
ガンカモ類の生息調査	昭和45年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科 (0555-72-6033)	ガンカモ類、個体数調査、越冬期、冬季、渡来地、渡来数、生息状況、全都道府県	E-2
鳥類標識調査	環境省事業としては昭和46年～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	鳥類、標識調査、バンディング、再捕獲、鳥類観測ステーション、金属足環、鳥類アトラス、山階鳥類研究所	E-2
モニタリングサイト1000ガンカモ類調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	湖沼、ガンカモ類、個体数調査、モニタリング	E-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	干潟、シギ・チドリ類、個体数調査、モニタリング	E-2
モニタリングサイト1000海鳥調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科(0555-72-6033)	小島嶼、海洋、海鳥、個体数調査、繁殖数調査、モニタリング	E-2
モニタリングサイト1000森林・草原調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科(0555-72-6033)	森林、草原、樹木、毎木調査、リター、地表徘徊性甲虫	E-2
モニタリングサイト1000陸生鳥類調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科(0555-72-6033)	森林、草原、陸生鳥類	E-2
モニタリングサイト1000里地調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	里地里山、植物相、鳥類、ほ乳類、水環境、カヤネズミ、ホタル、カエル、モニタリング	E-2
モニタリングサイト1000陸水域調査	平成19年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	陸水域、湖沼、湿原、抽水植物、沈水植物、浮葉植物、魚類、底生生物	E-2
モニタリングサイト1000沿岸域調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	沿岸域、磯、干潟、アマモ場、藻場、サンゴ礁、底生生物、海草、海藻、オニヒトデ、白化	E-2
モニタリングサイト1000サンゴ礁調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科(0555-72-6033)	沿岸域、サンゴ礁、海草、海藻、オニヒトデ、白化	E-2
モニタリングサイト1000ウミガメ調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	砂浜、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、上陸回数調査、産卵回数調査、モニタリング	E-2
モニタリングサイト1000高山帯調査	平成20年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科(0555-72-6033)	高山、風衝草原、雪田群落、ハイマツ、高山蝶、地球温暖化	E-2
東北地方太平洋沿岸地域植生・湿地変化状況等調査	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	東北地方太平洋沖地震、津波、復興、生物多様性、植生、湿地	D-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
東北地方太平洋沿岸地域生態系監視調査	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	東北地方太平洋沖地震、津波、復興、生物多様性、沿岸域、干潟、アマモ場、藻場、海鳥繁殖地	D-1
東北地方太平洋沿岸地域震災影響評価手法検討業務	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	東北地方太平洋沖地震、津波、復興、自然環境、影響評価	D-1
森林生態系炭素収支モニタリング	平成12年度～	国立環境研究所	地球環境研究センター 陸域モニタリング推進室 (029-850-2517)	二酸化炭素収支、バイオマス、フェノロジー、AsiaFlux、土壌呼吸、JaLTER(日本長期生態系研究ネットワーク)、	D-2
流域圏における生態系機能とその健全性の評価に関する研究	平成23～27年度	国立環境研究所	地域環境研究センター 湖沼・河川環境研究室 (029-850-2405)	森林域、湖沼、干潟、生態系機能、生物多様性、窒素飽和、硝酸汚染、アオコ、アオサ類、富栄養化、メコン河、淡水魚生態、マングローブ、底泥分解活性	B-3
湖沼のブラックボックス負荷「底泥溶出」の定量評価に関する研究	平成25～27年度	国立環境研究所	地域環境研究センター 湖沼・河川環境研究室 (029-850-2405)	湖沼、底泥、溶出フラックス、溶存有機物、窒素、リン、アオコ、リン形態分析、分子サイズ、微生物群集構造解析、底泥物理構造評価	B-3
摩周湖の透明度変化に関する物理・化学・生物学的要因解析	平成25～27年度	国立環境研究所	環境計測研究センター 同位体・無機計測研究室 (029-850-2476)	摩周湖、透明度	B-3
絶滅危惧生物の遺伝資源・細胞等の保存に関する活動	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	絶滅危惧、鳥類、哺乳類、魚類、藻類、凍結保存、細胞培養、検疫、感染症対策	C-2
造礁性イシサンゴ類の分子系統および化石と現世の形態多様性に基づく分類体系の再構築	平成22～26年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 生物多様性保全計画研究室 (029-850-2477)	造礁性イシサンゴ類、分類体系	E-2
生物多様性研究プログラム	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	生物多様性、景観、遺伝情報、リモートセンシング、シナリオ分析、人為的環境攪乱	A-1 B-4, B-5 C-1 E-2
戦略的アセスメント技術の開発と自然再生の評価	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	メコン川、湿地生態系、ダムの影響	B-1, B-2, D-1
生物多様性・生態系の保全に関する基盤的な調査・研究	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	保全、温暖化、侵入生物、自然科学と人文科学の連携	A-1 B-4 C-1 E-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
生物資源の保存事業	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	絶滅危惧藻類、絶滅危惧野生動物	C-2
長期環境モニタリング	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	霞ヶ浦、摩周湖	E-2
生物多様性・生態系情報	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	淡水魚類データベース、ため池、世界の淡水水質	E-2
温暖化影響モニタリング(高山帯)	平成23年度～	国立環境研究所	環境計測研究センター環境情報解析研究室(029-850-2983)	高山植物、森林限界、フェノロジー	B-5
生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄	A-1 B-1, B-2, B-5 D-1 F-2
空間明示モデルによる複数種の哺乳類を統合した管理戦略の構築	平成25～27年度	国立環境研究所	環境リスク研究センター生態リスクモデリング研究室(029-850-2761)	哺乳類、状態空間モデル、最適管理、ヘイズ推定	B-1
温暖化影響モニタリング(海洋)	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 生物多様性保全計画研究室(029-850-2477)	サンゴ、褐虫藻	B-5
湿原生態系保全に関する研究(湿原植生定期モニタリング)	平成9年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G(011-747-3521)	ラムサール条約登録湿地、湿原植生、植生モニタリング	C-1
野生動物分布等実態調査	平成11年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G(011-747-3521)	ヒグマ、分布情報、捕獲個体調査、個体群管理、北海道ヒグマ保護管理計画	B-1
渡島半島ヒグマ対策推進事業	平成12年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G(011-747-3521)	ヒグマ、渡島半島ヒグマ保護管理計画、出没被害状況調査、個体群管理	B-1
エゾシカ総合対策事業	平成3年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G(011-747-3521)	エゾシカ、北海道エゾシカ対策推進条例、個体数指数、個体群管理、生息環境調査	B-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
希少野生動植物保護対策推進事業	平成14年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	北海道生物多様性保全条例、条例指定植物、生育状況モニタリング	C-2
森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究	平成24～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	エゾシカ、相対密度、被害モニタリング手法、地理情報システム、捕獲技術開発	B-1
低位泥炭湿原の群落の景観と種組成における地理的変異の把握とその生成機構の解明	平成24～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	低位泥炭湿原、地理的変異、群落景観、群落種組成、水位、水質	C-1
釧路湿原にて超高密度化状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術	平成26～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	エゾシカ、タンチョウ、湿原植生、生態系管理、個体群管理	D-2
流域の水文学要因に着目した生態系のつながりの解明～安平川流域の生物多様性の保全及び遊水池利用～	平成25～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	安平川湿原、遊水池計画、群落種組成、水文学要因、鳥類相	C-1
ヒグマ地域個体群生息数推定に係る現地調査	平成25～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	ヒグマ、生息密度推定、北海道ヒグマ保護管理計画	B-1
地域環境を反映した環境センサーとして湖沼環境評価とデータベースの開発	平成23～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	湖沼、栄養塩、プランクトン、流入河川、長期変動	B-3
生態系タイプを考慮したセイヨウオオマルハナバチの影響把握と防除手法の検討	平成26～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	外来種、セイヨウオオマルハナバチ、訪花パターン、生態系タイプ、影響把握、防除手法	B-4
捕獲情報を用いたエゾライチョウのモニタリング手法に関する研究	平成26～27年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	エゾライチョウ、狩猟鳥、希少鳥類、捕獲情報、生息動向モニタリング手法	C-2
流域開発により起きた水質環境変化と植生を指標とした湖沼評価手法の検討	平成27～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	クッチャロ湖、栄養塩、湖岸植生、牧草地	B-3
イヌワシ個体群の生態的特性および遺伝的構造に関する研究	平成23～27年度	岩手県環境保健研究センター	地球科学部 (019-656-5672)	繁殖成功率、列状間伐、絶滅危惧種、遺伝的多様性	C-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究	平成24～28年度	岩手県環境保健研究センター	地球科学部 (019-656-5672)	希少植物、種の保存、地域資源としての活用	C-2
ヘアトラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発 <a href="http://www2.pref.iwate.jp/hp1353/shizen/mammal/top/mammal_top.html">http://www2.pref.iwate.jp/hp1353/shizen/mammal/top/mammal_top.html</a>	平成24～28年度	岩手県環境保健研究センター	地球科学部 (019-656-5672)	ヘアトラップ、DNA、個体識別、特定計画、バイズ	B-1
第 期第4次総合調査(八溝山地、阿武隈山地、県北部海岸を中心とした県北地域)	平成27～29年度	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	資料課(0297-38-2000)	茨城県、動物、植物、菌類、古生物、地質、岩石	E-2
哺乳類生息状況調査	平成17年度～	群馬県環境森林部自然環境課、群馬県立自然史博物館	群馬県立自然史博物館 学芸係(0274-60-1200)	ツキノワグマ、シカ、サル、イノシシ、アライグマ、カモシカ	B-1
群馬県奥多野及び周辺地域の自然史調査	平成26～28年度	群馬県立自然史博物館	学芸係 (0274-60-1200)	動物、植物、菌類、古生物、地質、岩石	E-2
水生昆虫調査隊	平成27年度～	群馬県立ぐま昆虫の森	企画普及係 (0277-74-6441)	博学連携型生物調査、水生昆虫	A-1
自然環境データベースもGISによる構築・運用ー森林変遷の把握と温暖化緩和機能の評価ー	平成25～26年度	埼玉県環境科学国際センター	温暖化対策担当0480-73-8331	GIS、データベース、土地利用変遷、リモートセンシング、植生図	E-2
中小河川・水路における水生生物の生息環境の評価指標の検討	平成25～26年度	埼玉県環境科学国際センター	水環境担当0480-73-8331	河川、水生生物、魚類、二枚貝、生息環境、評価	B-3
生物多様性地理情報システムの管理・活用	平成18年度～	千葉県生物多様性センター	(043-265-3601)	生物分布情報、三次メッシュ、生物多様性評価、データベース	E-2
生命(いのち)のにぎわい調査団	平成20年度～	千葉県生物多様性センター	(043-265-3601)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、生息報告、季節報告、ほ乳類、鳥類、両生類、植物	A-1
生物多様性モニタリング・モデル事業	平成21年度～	千葉県生物多様性センター	(043-265-3601)	ほ乳類、カメラトラップ、市民参加	A-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012- 2020 我が国の国別目標との対応
地域研究課題:地球誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、地質学、地形学	E-2
地域研究課題:生命誌系1	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、生物相、分類学	E-2
地域研究課題:生命誌系2	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、生態学	E-2
地域研究課題:人類誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、歴史学、民俗学	E-2
地域研究課題:博物館誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、博物館学	E-2
普遍研究課題:地球誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	地質学、地形学	E-2
普遍研究課題:生命誌系1	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	生物相、分類学	E-2
地域研究課題:生命誌系2	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	生態学	E-2
地域研究課題:人類誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	歴史学、民俗学	E-2
地域研究課題:博物館誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	博物館学	E-2
房総丘陵の自然 過去、現在、 未来	平成24～27年度	千葉県立中央博物館	043-265-3111	房総丘陵、地学、動物学、植物学	E-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
効果的な水源林の整備に関する研究開発	平成14年度～	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	土砂流出、量水堤、森林整備、水源の森	D-1
丹沢大山の自然環境モニタリングと再生技術開発	平成19年度～	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	丹沢、ブナ、衰退、オゾン、大気汚染、ブナハバチ	D-2
スギ・ヒノキ花粉発生源調査	平成21～30年度	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	スギ、雄花、目視、飛散予測、花粉	D-1
シカ森林管理一体的推進手法の開発	平成24～28年度	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	シカ、森林、個体数管理、捕獲	B-1
シカ生息環境モニタリング	平成24年度～	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	シカ、森林、希少種、植生保護柵	B-1
無花粉ヒノキの実用化研究	平成27～28年度	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	ヒノキ、雄花、花粉症、林木育種、花粉	D-1
生物生息状況モニタリング(海域および河川生物相調査)	昭和48年度～	横浜市環境創造局環境科学研究所	045-752-2605	モニタリング 海域 河川	E-2
生物生息状況モニタリング(陸域生物調査)	平成24年度～	横浜市環境創造局環境科学研究所	045-752-2605	モニタリング 陸域	E-2
特別天然記念物カモシカ保護事業	昭和60年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	ニホンカモシカ、保護	C-2
人と野生鳥獣との共生推進事業費	平成17年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	クマ・シカ・サルの生態・分布状況、クマのエサ資源、捕獲個体	B-1
ブナ・コナラ・ミズナラの豊凶予測調査	平成19年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	堅果、ツキノワグマ、大量出没	B-1



平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
石川の種の保存推進事業	平成20年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	県指定野生植物種(オキナグサ・サドクルマユリ)	C-2
重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (モニタリングサイト1000)高山帯調査事業費	平成21年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	高山帯、永久方形区での植生調査、温度測定、ハイマツ成長量調査、開花状況調査、チョウ類調査、地表徘徊性昆虫調査	E-2
里山クマ対策事業	平成25年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当(076-255-5321)	ツキノワグマ、大量出没、里山	B-1
九十九湾周辺における気象と水質	平成6年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課(0768-74-1919)	石川県、九十九湾、気象・水質、定期観測	E-2
砂浜海岸モニタリング調査	平成11年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課(0768-74-1919)	石川県、海岸改変、波打ち帯、砂粒度	E-2
砂浜海岸の底生動物モニタリング調査	平成19年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課(0768-74-1919)	石川県、波打ち帯、底生動物、生息状況	E-2
岩礁海岸モニタリング調査	平成20年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課(0768-74-1919)	石川県、海岸改変、潮間帯、動植物、生息状況	E-2
石川県立自然史資料館周辺自然史総合調査	平成20年度～	石川県立自然史資料館	館長 (076-229-3450)	エコミュージアム、植物相、植生相、動物相、気候、地質、人間活動	E-2
石川県立自然史資料館長中期調査研究計画策定事業	平成21年度～	石川県立自然史資料館	館長 (076-229-3450)	自然史GIS、植物相、動物相、生活環、植生相、地理分布、気候、地質	E-2
石川県立自然史資料館標本等収集整理事業	平成21年度～	石川県立自然史資料館	植物、動物、各領域責任者 (076-229-3450)	標本収集、標本整理、データベース作成運用	E-2
シロアリ類およびゴキブリ類の生態に関する研究	平成23年度～	石川県立自然史資料館	動物領域責任者 (076-229-3450)	昆虫類(ヤマトシロアリ、オオゴキブリなど)、社会生態、木材害虫、生物多様性保全	E-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
石川県立自然史資料館周辺の植物季節観測	平成24年度～	石川県立自然史資料館	植物領域責任者 (076-229-3450)	生活史、エコミュージアム、植物相、気候	E-2
石川県立自然史資料館収蔵植物標本等のデジタル情報化整備	平成24年度～	石川県立自然史資料館	植物領域責任者 (076-229-3450)	データベース、生物分布情報、生物多様性	E-2
石川県内の海浜性ハンミョウ類の分布調査	平成24年度～	石川県立自然史資料館	動物領域責任者 (076-229-3450)	昆虫類(イカリモンハンミョウ、ハラビロハンミョウなど)、絶滅危惧種、生物多様性保全	C-2
金沢市に生息する外来種アジアカクマゼミの地理的起源に関する研究	平成25年度～	石川県立自然史資料館	動物領域責任者 (076-229-3450)	昆虫類(アジアカクマゼミ)、外来種、東アジア、形態解析、分子系統解析	B-4
石川県における草本植物の分布に関する研究	平成21年度～	石川県地域植物研究会 (石川県自然史センター) (石川県立自然史資料館)	石川県自然史センター専務理事 長 (076-229-3450)	石川県、草本植物、植物地理学的研究、GIS化	E-2
洞窟性希少生物現況調査[石川県金沢市内の山川石切丁場(山川町地内)、額谷石切丁場(額谷町地内)の生息状況]	平成26～27年度	石川県自然史センター (石川県立自然史資料館)	館長 (076-229-3450)	コウモリ類・中型哺乳類・ネズミ類及びモグラ類・両生爬虫類の洞窟利用調査、調査地域による自然環境保全への提言	E-2
鳥類生息調査事業:ガンカモ科鳥類生息調査	昭和48年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	鳥獣保護区、渡り鳥、モニタリング、ガンカモ科、個体数調査	E-2
鳥類生息調査事業:渡り鳥保全調査	昭和55年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	鳥獣保護区、渡り鳥、モニタリング、個体数調査	E-2
野生生物同定調査事業:自然観察の森周辺環境調査	平成2年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	植生、鳥類、昆虫類、哺乳類、生物多様性	E-2
鳥類生息調査事業:カワウ生息調査	平成19年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	カワウ、モニタリング、個体数調査	E-2
ブナ科樹木の豊凶モニタリング調査	平成20年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	ツキノワグマ、ブナ科、堅果、豊凶	B-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
外来魚防除対策事業:ため池での外来魚防除指導・支援	平成20年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	里地里山、ブラックバス、ブルーギル、ため池、普及啓発	B-4
生き物百葉箱推進事業	平成21年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	自然再生、環境教育、モニタリング	A-1
レッドデータブック改訂事業	平成24年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	レッドデータブック、絶滅危惧種、希少種	C-2
三方湖周辺のふゆみずたんぼに飛来するハクチョウ類調査	平成18年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	三方湖、ふゆみずたんぼ、ハクチョウ	B-2
外来魚防除対策事業:ため池での外来魚防除指導・支援	平成20年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	里地里山、ブラックバス、ブルーギル、ため池、普及啓発	B-4
三方湖周辺における水田魚道の設置と効果の検証	平成21年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	三方湖、水田魚道	B-2
三方湖における効果的な外来魚駆除方法に関する研究	平成22年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	三方湖、外来魚、ブラックバス、ブルーギル、駆除	B-4
富士北麓の蝶類群集の定量的モニタリングによる温暖化影響と衰退種特性の解明	平成24～28年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部 (0555-72-6194)	富士北麓、蝶類群集、温暖化影響、衰退種	B-5
富士山におけるニホンジカの個体群動態と個体数管理に向けた行動学的特性	平成25～27年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部(0555-72-6191)	富士山、ニホンジカ、スズタケ	B-1
リモートセンシングと地上探査を用いた富士山森林限界の広域的構造と動態に関する研究	平成25～28年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部(0555-72-6211)	富士山、森林限界、植生動態、リモートセンシング	E-2
富士火山北麓における地下水変動観測と地層の水理特性に関する研究	平成22～27年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部 (0555-72-6195)	富士山、地下水、水理特性、モニタリング	該当無し

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
山梨のジオ情報を活用した地域環境特性に関する研究 ~暮らしやすい安全安心なまちづくりのために~	平成24~28年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部 (0555-72-6211)	山梨、ジオ情報、地域環境特性	E-2
富士北麓の水資源の保全と活用のための水文科学的研究	平成25~27年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部 (0555-72-6211)	富士山、地下水、水文科学、モニタリング	該当無し
富士五湖(特に河口湖)の水質浄化に関する研究-湖底堆積物の物理的および化学的性状の把握-	平成25~27年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部 (0555-72-6211)	富士山、富士五湖、河口湖、湖底堆積物、底質	B-3
富士五湖・湖底堆積物の有機地球化学分析による自然環境変遷史の復元	平成25~27年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部 (0555-72-6190)	富士山、富士五湖、湖底堆積物、古環境	E-2
衛星データによる土地被覆情報把握の高度化	平成27~29年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部 (0555-72-6187)	衛星データ、土地被覆情報	E-2
地域特性を考慮した自然公園の空間的利用区分に関する研究	平成24~27年度	山梨県富士山科学研究所	環境共生研究部 (0555-72-6217)	自然公園、空間的利用区分、地域特性	D-1
富士山五合目付近の外来植物の分布の現状把握に関する研究	平成26~27年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部 (0555-72-6211)	富士山五合目、外来種	B-4
長野県の生物多様性の総合評価と保全に関する調査研究	平成24~28年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	希少野生動植物、レッドリスト改訂、生物多様性、長野県	C-2 E-2
高山帯における生態系モニタリングの推進に関する調査研究	平成25~27年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	高山生態系、モニタリング、ニホンジカ、ライチョウ、高山植物、残雪、植物フェノロジー、爺ヶ岳、木曾駒、茶臼岳(南ア)、ハヶ岳、御岳山、長野県	E-2
外来生物に関するモニタリングと普及啓発に関する調査研究	平成26~28年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	外来生物、特定外来生物、長野県	B-4
野生鳥獣の保護管理に向けた生態解明及び被害対策の普及啓発	平成27~29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	ツキノワグマ、ニホンザル、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、保護管理計画、長野県	B-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
長野県における地形地質情報リテラシーの向上のための実践研究	平成27～30年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	地形地質、デジタル地質図、情報リテラシー向上、山岳環境保全、防災、観光	A-1
長野県における気候変動適応推進に向けた情報整備に関する調査研究	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	気候変動影響、適応策、モニタリングネットワーク、適応プラットフォーム	D-2
地方都市におけるヒートアイランド現象の緩和策に関する調査研究	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	ヒートアイランド、気候変動、都市域、数値シミュレーション	D-2
市民の環境配慮行動の促進に関する調査研究	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	気候変動、温室効果ガス削減、環境配慮	D-2
外来不快害虫ヤンバルトサカヤスデの生態特性	平成21年度～	静岡県環境衛生科学研究所	環境科学部 (054-245-0202)	外来生物、ヤンバルトサカヤスデ、生態、生活史	B-4
愛知県鳥類生息調査	平成22年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	定点調査、個体数調査	E-2
ガンカモ類生息調査	平成22年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	ガンカモ類、個体数調査	E-2
愛知県の希少野生動植物種についての研究	平成24年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	絶滅危惧種、レッドデータブックあいち	C-2
愛知県絶滅危惧種等フォローアップ調査	平成26年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部 (052-910-5489)	レッドデータブックあいち、絶滅危惧種	C-2
油ヶ淵における生物多様性モニタリング手法の開発	平成26年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部 (052-910-5489)	油ヶ淵、水生植物	E-2
市内河川等生物調査	昭和56年度～ (隔年)	名古屋市環境科学調査センター	環境科学室 (052-692-8481)	河川、ため池、底生生物、魚類、付着藻類	B-3

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
遺伝子解析による生物多様性の保全に関する研究	平成24年度～	名古屋市環境科学調査センター	環境科学室 (052-692-8481)	希少種、保全、遺伝的多様性、外来種、組換え植物	C-2
市民協働による都市部における生物多様性の保全と外来生物対策	平成23年度～	名古屋市環境局なごや生物多様性センター	環境活動推進課分室 052-831-8104	動物調査と保全対策、水生植物調査、水辺の生きもの調査、生物情報モニタリングデータベース、一斉調査、野鳥、陸貝、オオキンケイギク、甲殻類、アメリカザリガニ、カマキリ	B-4
動植物実態調査	平成24年度～	名古屋市環境局なごや生物多様性センター	環境活動推進課分室 052-831-8104	レッドリスト、レッドデータブック、検討会、希少野生動植物、絶滅危惧種	C-2
プランクトン調査	昭和54年度～	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	環境監視研究部門 生物圏担当 (077-526-4288)	湖沼、植物プランクトン、動物プランクトン、細胞数、個体数調査、モニタリング	B-3
希少魚の保護増殖試験	平成2年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	イタセンバラ、ニッポンバラタナゴ、系統保存	C-2
大阪府内の河川における魚類資源保全対策事業	平成12年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	希少魚生息調査、ダム、モニタリング	C-2
淡水生物増殖試験	平成15年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	水生植物、ミズアオイ、保護、市民協働	C-2
淀川における外来水生生物の生態調査研究	平成16年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	淀川、外来魚、外来水生植物、駆除	B-4
淀川流域の希少在来魚の保護に関する調査研究	平成20年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	淀川、イタセンバラ、二枚貝、野生復帰、保全	C-2
生物多様性分野の環境教育における研究成果・施設の活用	平成25年度	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター(072-833-2770)	地域の生物多様性、研修プログラム作成、環境教育プログラム作成	A-1
生物多様性保全ガイドライン(企業向け)の策定	平成25年度	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター(072-833-2770)	企業CSR、生物多様性保全、希少生物保護、プログラム開発	A-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
(大阪湾)生物モニタリング調査	平成2年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水産技術センター (072-495-5252)	藻場、底生動物、底質	E-2
野生鳥獣被害対策調査	平成14年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	環境研究部(072-958-6551)	狩猟者目撃効率、狩猟者捕獲効率、シカ糞密度、下層植生衰退度、出没頻度、農業被害強度、効果的防除法	B-1
アライグマモニタリング調査	平成25年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	環境研究部(072-958-6551)	捕獲時計測データ、繁殖状況、出没頻度、被害強度、防護柵設置状況、炭素・窒素安定同位体比分析、食性分析	B-4
地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	地形、地質、化石、丹波竜、学習コンテンツ	A-1
兵庫県の動植物相の解明	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	兵庫県、動物、植物、標本収集	E-2
生態学的にみた共生の現実と未来	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	鳥類、魚類、水生昆虫、生物多様性保全	D-1
生物多様性保全のための都市林および里山林の生態学的研究	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	都市林、里山林、自然再生、市民参加	D-1
古写真とその記憶等の収集による地域景観の評価に関する研究	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	古写真、地域景観、環境計画、地域づくり	E-2
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(1)基礎データの収集と整理	平成11年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	野生動物分布、被害状況、アンケート調査、捕獲状況調査、豊凶状況調査、感染症サーベイランス、希少種保全	B-1
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(2)ニホンジカの順応的管理体制の構築	平成11年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	個体数推定、糞塊密度調査、個体分析、被害対策手法、捕獲手法、効率化	B-1
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(3)イノシシの被害対策と適正管理	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	個体分析、個体数推定、個体群動態・被害動態予測、捕獲手法、効率化	B-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(4)ニホンザルに対する総合的被害管理手法の開発	平成16年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	個体数調査、生息実態調査、集落出没抑制手法、DNA分析、餌付け個体群	B-1
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(5)ツキノワグマの出没危機管理体制の構築	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	個体数推定、出没対策、誘引物除去、DNA分析、学習放獣効果検証	B-1
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(6)外来生物対策	平成15年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	アライグマ、ヌートリア、生息・被害動向、繁殖状況、捕獲手法	B-1
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究(7)共通項目	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	感染症防止対策マニュアル、野生動物資源有効活用、効率的処分	B-1
人と野生動物の共生を実現するための森林の整備と管理に関する研究	平成17年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	ニホンジカ、森林衰退状況、不嗜好性植物、森林更新、森林機能保全、生物多様性、獣害防除	B-1
獣害に強い集落づくり支援に関する研究	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部 (0795-80-5500(代表))	被害状況調査、獣害対策、野生動物監視員、社会学	B-1
湖山池の環境変化に備えた生物多様性・生態系評価	平成24～27年度	鳥取県衛生環境研究所	水環境対策チーム (0858-35-5417)	湖山池、環境変化、生物多様性、生態系評価	B-3
東郷池の環境改善に向けた水生植物の再生に関する研究	平成27～28年度	鳥取県衛生環境研究所	水環境対策チーム (0858-35-5417)	生物多様性、生態系、水生植物、シードバンク	B-1E-2
ふれあいの里奥出雲公園生物調査	平成20年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	植生、鳥類、昆虫類、ほ乳類	E-2
希少鳥類の繁殖状況調査	平成20年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	希少鳥類、繁殖	C-2
ダイコクコガネのモニタリング調査	平成20年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	希少昆虫、生息状況、モニタリング	C-2



平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
赤名湿地における動植物調査	平成20年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	自然環境保全地域、湿地、絶滅危惧種	C-2
草原性植物の管理と保全、野外展示物としての管理手法の検討	平成21年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	草原性植物、絶滅危惧種、草原管理	C-2
三瓶自然館野外観察コーナーにおける鳥類出現状況調査	平成22年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	三瓶自然館、野外観察コーナー	A-1
三瓶山北の原におけるチョウ類調査	平成22年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	三瓶山、チョウ	E-2
鳥根県で新種発見されたゲンセイ調査	平成22年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	クロゲンセイ、新種昆虫	E-2
全国一斉樹木フェノロジー調査	平成22年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	樹木、フェノロジー	E-2
隠岐諸島における沿岸生態系に関する基礎調査	平成23年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	隠岐諸島、ジオパーク、沿岸生態系、底生生物	E-2
湿原保全活動	平成16年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	湿原、再生、動植物の保護活動	B-3
フサヒゲルリカミキリ調査	平成16年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	採草地、希少動植物、生活史	C-2
ブナ調査	平成17年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	ブナ林、毎木調査、実生、更新、モニタリング	E-2
堅果類豊凶調査	平成23年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	ブナ、ミズナラ、コナラ、豊凶	B-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
住民参加による干潟環境改善手法の検討	平成22年度～	山口県環境保健センター	環境科学部 (083-924-3670)	干潟、底生生物、生息環境	A-1
徳島県の自然史研究	平成2年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	動物、植物、地学	E-2
徳島県のタンポポの分布調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	在来種、外来種、都市化、市民参加調査	C-2, E-2
徳島県希少野生生物生息状況調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	オヤニラミ、オオウナギ、カワバタモロコ、絶滅危惧種	C-2, E-2
外来昆虫の分布拡大に関する調査	平成22年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	半翅類、四国、分布拡大経路	B-4, E-2
徳島県におけるナガエツルノゲイトウの分布	平成25年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	特定外来種、分布拡大、農地侵入	B-4, E-2
徳島県の絶滅危惧植物の保護に関する調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	ワタヨモギ、フジバアカマ、シバナ、タコノアシ、モニタリング、分布、保護	C-2, E-2
ニッポンバラタナゴの保護	平成17年度～	香川県みどり保全課及び香川県環境保健研究センター	自然環境(087-825-0401)	ニッポンバラタナゴ、遺伝子解析、亜種判別	C-2
カンカケイニラの保護増殖	平成19年度～	香川県みどり保全課及び香川県環境保健研究センター	自然環境(087-825-0401)	カンカケイニラ、人工増殖栽培試験	C-2
モニタリングサイト1000里地調査	平成20年度～	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター(089-931-8757)	里地里山、水環境、モニタリング	E-2
有機栽培圃場の生物多様性調査	平成21年度～	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター(089-931-8757)	水稲、有機農業、水生生物、個体数調査、モニタリング	D-1

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
外来生物実態調査	平成24年度～	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター(089-931-8757)	外来生物、生息調査	B-4
特定希少野生動植物保護管理調査	平成27年度～	愛媛県立衛生環境研究所	(089-931-8757)	絶滅危惧種、コガタノゲンゴロウ、生息調査、生息環境要因解析	C-2
英彦山ブナ林生態系における生物多様性の保全と再生	平成25～27年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課(092-921-9951)	ブナ林生態系、生物多様性、絶滅危惧種、生態系管理、英彦山	C-1
福岡県生物多様性戦略推進のための生物多様性指標の開発	平成26～28年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課(092-921-9951)	生物多様性、生物多様性評価、保全、環境健全度評価、環境教育	A-1,E-2
福岡県における侵略的外来種の定着状況把握とその影響評価	平成26～28年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課(092-921-9951)	侵略的外来種、外来種対策、国内由来の外來種、生物多様性、福岡県	B-4
底生生物調査	平成4年度～	福岡市保健環境研究所	環境科学課(092-831-0697)	底生動物、環境評価、福岡市内の河川	E-2
県南調査(動物) 県南地域の動物相について	平成23～26年度	宮崎県総合博物館	動物部門(0985-24-2071)	鳥類、底生動物	E-2
県南調査(植物) 県南地域の海岸植物	平成23～26年度	宮崎県総合博物館	植物部門(0985-24-2071)	海岸植物	E-2
県南調査(地質) 県南地域の地質	平成23～26年度	宮崎県総合博物館	地質部門(0985-24-2071)	23年度;オバキュリナ、砂岩層、貝化石層	E-2
オオトラツグミ保護増殖事業	平成11年度～	環境省那覇自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター(0997-55-8620)	オオトラツグミ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、餌生物、生息適地推定	C-2
アマミヤマシギ保護増殖事業	平成11年度～	環境省那覇自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター(0997-55-8620)	アマミヤマシギ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、交通事故、ラジオテレメトリー	C-2

平成27年度にNORNAC構成機関が実施する自然系調査研究活動の一覧(平成27年11月6日現在)

青塗りは平成27年度からの新規課題(テーマ)

課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード	生物多様性国家戦略2012-2020 我が国の国別目標との対応
アマミノクロウサギ保護増殖事業	平成16年度～	環境省那覇自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター(0997-55-8620)	アマミノクロウサギ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、交通事故、自動撮影カメラ	C-2
ノグチゲラ追跡調査業務	平成10年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ノグチゲラ、国内希少種、保護増殖事業、生態	C-2
ヤンバルテナゴコガネ生態調査業務	平成12年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ヤンバルテナゴコガネ、国内希少種、保護増殖事業、生態、生息状況	C-2
沖縄島北部地域におけるマングース防除事業	平成13年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	マングース、特定外来生物、防除事業	B-4
国指定屋我地鳥獣保護区アジサシ調査	平成18年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ベニアジサシ、エリグロアジサシ、飛来数、営巣数、屋我地鳥獣保護区	B-1
ヤンバルクイナ生息状況把握調査業務	平成19年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ヤンバルクイナ、国内希少種、保護増殖事業、モニタリング	C-2
ヤンバルクイナ遺伝的多様性等分析	平成22年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ヤンバルクイナ、国内希少種、保護増殖事業、DNA、血液、遺伝子、多様性、系統	C-2
ノグチゲラ遺伝的多様性分析調査	平成25年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ノグチゲラ、国内希少種、保護増殖事業、DNA、血液、遺伝子、多様性、系統	C-2
ツシマヤマネコ保護増殖事業	平成7年度～	環境省九州地方環境事務所	対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)	痕跡調査・自動撮影カメラ・モニタリング・交通事故対策・地域社会作り・ノラネコ対策	C-2
イリオモテヤマネコ保護増殖事業	平成7年度～	環境省那覇自然環境事務所	西表野生生物保護センター(0980-84-7130)	イリオモテヤマネコ、生息環境、個体数、モニタリング、交通事故、自動撮影カメラ	C-2

## 生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標A：生物多様性の損失の根本原因に対処

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
A-1: 「生物多様性の社会における主流化」の達成等	<u>いきものログ</u>	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物
	<u>しおかぜ自然環境調査</u>	平成26年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物、東北地方太平洋沖地震、津波、復興
	<u>生物多様性研究プログラム</u>	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	生物多様性、景観、遺伝情報、リモートセンシング、シナリオ分析、人為的環境攪乱
	<u>生物多様性・生態系の保全に関する基盤的な調査・研究</u>	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	保全、温暖化、侵入生物、自然科学と人文科学の連携
	<u>生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究</u>	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄
	水生昆虫調査隊	平成27年度～	群馬県立ぐんま昆虫の森	企画普及係 (0277-74-6441)	博学連携型生物調査、水生昆虫
	<u>生命(いのち)のにぎわい調査団</u>	平成20年度～	千葉県生物多様性センター	(043-265-3601)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、生息報告、季節報告、ほ乳類、鳥類、両生類、植物
	<u>生物多様性モニタリング・モデル事業</u>	平成21年度～	千葉県生物多様性センター	(043-265-3601)	ほ乳類、カメラトラップ、市民参加
	生き物百葉箱推進事業	平成21年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	自然再生、環境教育、モニタリング
	長野県における地形地質情報リテラシーの向上のための実践研究	平成27～30年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	地形地質、デジタル地質図、情報リテラシー向上、山岳環境保全、防災、観光
	生物多様性分野の環境教育における研究成果・施設の活用	平成25年度	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター(072-833-2770)	地域の生物多様性、研修プログラム作成、環境教育プログラム作成
	生物多様性保全ガイドライン(企業向け)の策定	平成25年度	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター(072-833-2770)	企業CSR、生物多様性保全、希少生物保護、プログラム開発

## 生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標A：生物多様性の損失の根本原因に対処

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
A-1: 「生物多様性の 社会における主 流化」の達成等	地形・地質・化石等を軸とした学習 コンテンツの探索とその活用に関 する研究	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559- 2001)	地形、地質、化石、丹波竜、学習コンテンツ
	三瓶自然館野外観察コーナーにお ける鳥類出現状況調査	平成22年度～	島根県立三瓶自然館(公益財 団法人しまね自然と環境財 団)	学芸課(0854-86-0500)	三瓶自然館、野外観察コーナー
	住民参加による干潟環境改善手 法の検討	平成22年度～	山口県環境保健センター	環境科学部 (083-924-3670)	干潟、底生生物、生息環境
	福岡県生物多様性戦略推進のた めの生物多様性指標の開発	平成26～28年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課 (092-921-9951)	生物多様性、生物多様性評価、保全、環境健全度評価、 環境教育

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-1: 自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の減少	要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査	平成27年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	ヒグマ、ツキノワグマ、アライグマ、ヌートリア、ハクビシン、マガン、生息分布
	戦略的アセスメント技術の開発と自然再生の評価	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	メコン川、湿地生態系、ダムの影響
	生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄
	空間明示モデルによる複数種の哺乳類を統合した管理戦略の構築	平成25～27年度	国立環境研究所	環境リスク研究センター 生態リスクモデリング研究室 (029-850-2761)	哺乳類、状態空間モデル、最適管理、ベイズ推定
	野生動物分布等実態調査	平成11年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	ヒグマ、分布情報、捕獲個体調査、個体群管理、北海道ヒグマ保護管理計画
	渡島半島ヒグマ対策推進事業	平成12年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	ヒグマ、渡島半島ヒグマ保護管理計画、出没被害状況調査、個体群管理
	エゾシカ総合対策事業	平成3年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	エゾシカ、北海道エゾシカ対策推進条例、個体数指数、個体群管理、生息環境調査
	森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究	平成24～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	エゾシカ、相対密度、被害モニタリング手法、地理情報システム、捕獲技術開発
	ヒグマ地域個体群生息数推定に係る現地調査	平成25～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	ヒグマ、生息密度推定、北海道ヒグマ保護管理計画
流域開発により起きた水質環境変化と植生を指標とした湖沼評価手法の検討	平成27～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	クッチャロ湖、栄養塩、湖岸植生、牧草地	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-1: 自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の減少	ヘアトラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発 <a href="http://www2.pref.iwate.jp/hp1353/shizen/mammal/top/mammal-top.html">http://www2.pref.iwate.jp/hp1353/shizen/mammal/top/mammal-top.html</a>	平成24～28年度	岩手県環境保健研究センター	地球科学部 (019-656-5672)	ヘアトラップ、DNA、個体識別、特定計画、バイズ
	哺乳類生息状況調査	平成17年度～	群馬県環境森林部自然環境課、群馬県立自然史博物館	群馬県立自然史博物館 学芸係(0274-60-1200)	ツキノワグマ、シカ、サル、イノシシ、アライグマ、カモシカ
	シカ森林管理一体的推進手法の開発	平成24～28年度	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	シカ、森林、個体数管理、捕獲
	シカ生息環境モニタリング	平成24年度～	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	シカ、森林、希少種、植生保護柵
	人と野生鳥獣との共生推進事業費	平成17年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	クマ・シカ・サルの生態・分布状況、クマのエサ資源、捕獲個体
	ブナ・コナラ・ミズナラの豊凶予測調査	平成19年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	堅果、ツキノワグマ、大量出沒
	里山クマ対策事業	平成25年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当(076-255-5321)	ツキノワグマ、大量出沒、里山
	ブナ科樹木の豊凶モニタリング調査	平成20年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	ツキノワグマ、ブナ科、堅果、豊凶
	富士山におけるニホンジカの個体群動態と個体数管理に向けた行動学的特性	平成25～27年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部(0555-72-6191)	富士山、ニホンジカ、スズタケ
野生鳥獣の保護管理に向けた生態解明及び被害対策の普及啓発	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	ツキノワグマ、ニホンザル、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、保護管理計画、長野県	



生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-1: 自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の減少	野生鳥獣被害対策調査	平成14年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	環境研究部(072-958-6551)	狩猟者目撃効率、狩猟者捕獲効率、シカ糞密度、下層植生衰退度、出没頻度、農業被害強度、効果的防除法
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (1)基礎データの収集と整理	平成11年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	野生動物分布、被害状況、アンケート調査、捕獲状況調査、豊凶状況調査、感染症サーベイランス、希少種保全
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (2)ニホンジカの順応的管理体制の構築	平成11年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	個体数推定、糞塊密度調査、個体分析、被害対策手法、捕獲手法、効率化
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (3)イノシシの被害対策と適正管理	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	個体分析、個体数推定、個体群動態・被害動態予測、捕獲手法、効率化
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (4)ニホンザルに対する総合的被害管理手法の開発	平成16年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	個体数調査、生息実態調査、集落出没抑制手法、DNA分析、餌付け個体群
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (5)ツキノワグマの出没危機管理体制の構築	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	個体数推定、出没対策、誘引物除去、DNA分析、学習放獣効果検証
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (6)外来生物対策	平成15年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	アライグマ、ヌートリア、生息・被害動向、繁殖状況、捕獲手法
	農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (7)共通項目	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	感染症防止対策マニュアル、野生動物資源有効活用、効率の処分
	人と野生動物の共生を実現するための森林の整備と管理に関する研究	平成17年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	ニホンジカ、森林衰退状況、不嗜好性植物、森林更新、森林機能保全、生物多様性、獣害防除
	獣害に強い集落づくり支援に関する研究	平成19年度～	兵庫県森林動物研究センター	研究部(0795-80-5500(代表))	被害状況調査、獣害対策、野生動物監視員、社会学
東郷池の環境改善に向けた水生植物の再生に関する研究	平成27～28年度	鳥取県衛生環境研究所	水環境対策チーム(0858-35-5417)	生物多様性、生態系、水生植物、シードバンク	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-1: 自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の減少	国指定屋我地鳥獣保護区アジサシ調査	平成18年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター (0980-50-1025)	ベニアジサシ、エリグロアジサシ、飛来数、営巣数、屋我地鳥獣保護区
B-2: 生物多様性の保全を確保した農林水産業の持続的な実施	戦略的アセスメント技術の開発と自然再生の評価	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	メコン川、湿地生態系、ダムの影響
	生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄
	三方湖周辺のふゆみずたんぼに飛来するハクチョウ類調査	平成18年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	三方湖、ふゆみずたんぼ、ハクチョウ
	三方湖周辺における水田魚道の設置と効果の検証	平成21年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	三方湖、水田魚道
	堅果類豊凶調査	平成23年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	ブナ、ミズナラ、コナラ、豊凶
B-3: 窒素やリン等による汚染状況の改善、水生生物の保全と生産性の向上等	流域圏における生態系機能とその健全性の評価に関する研究	平成23～27年度	国立環境研究所	地域環境研究センター 湖沼・河川環境研究室 (029-850-2405)	森林域、湖沼、干潟、生態系機能、生物多様性、窒素飽和、硝酸汚染、アオコ、アオサ類、富栄養化、メコン河、淡水魚生態、マングローブ、底泥分解活性
	湖沼のブラックボックス負荷「底泥溶出」の定量評価に関する研究	平成25～27年度	国立環境研究所	地域環境研究センター 湖沼・河川環境研究室 (029-850-2405)	湖沼、底泥、溶出フラックス、溶存有機物、窒素、リン、アオコ、リン形態分析、分子サイズ、微生物群集構造解析、底泥物理構造評価
	摩周湖の透明度変化に関する物理・化学・生物学的要因解析	平成25～27年度	国立環境研究所	環境計測研究センター 同位体・無機計測研究室 (029-850-2476)	摩周湖、透明度
	地域環境を反映した環境センサーとして湖沼環境評価とデータベースの開発	平成23～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	湖沼、栄養塩、プランクトン、流入河川、長期変動

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-3: 窒素やリン等による汚染状況の改善、水生生物の保全と生産性の向上等	中小河川・水路における水生生物の生息環境の評価指標の検討	平成25～26年度	埼玉県環境科学国際センター	水環境担当0480-73-8331	河川、水生生物、魚類、二枚貝、生息環境、評価
	富士五湖(特に河口湖)の水質浄化に関する研究-湖底堆積物の物理的および化学的性状の把握-	平成25～27年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部 (0555-72-6211)	富士山、富士五湖、河口湖、湖底堆積物、底質
	市内河川等生物調査	昭和56年度～ (隔年)	名古屋市環境科学調査センター	環境科学室 (052-692-8481)	河川、ため池、底生生物、魚類、付着藻類
	プランクトン調査	昭和54年度～	滋賀県琵琶湖環境科学研究所	環境監視研究部門 生物圏担当 (077-526-4288)	湖沼、植物プランクトン、動物プランクトン、細胞数、個体数調査、モニタリング
	湖山池の環境変化に備えた生物多様性・生態系評価	平成24～27年度	鳥取県衛生環境研究所	水環境対策チーム (0858-35-5417)	湖山池、環境変化、生物多様性、生態系評価
	湿原保全活動	平成16年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	湿原、再生、動植物の保護活動
B-4: 外来生物法の施行状況の検討結果を踏まえた侵略的外来種の特 定、定着経路情報の整備、防除の優先度の整理、防除の計画的推進等	生物多様性研究プログラム	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	生物多様性、景観、遺伝情報、リモートセンシング、シナリオ分析、人為的環境攪乱
	生物多様性・生態系の保全に関する基盤的な調査・研究	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	保全、温暖化、侵入生物、自然科学と人文科学の連携
	生態系タイプを考慮したセイヨウオオマルハナバチの影響把握と防除手法の検討	平成26～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	外来種、セイヨウオオマルハナバチ、訪花パターン、生態系タイプ、影響把握、防除手法
	金沢市に生息する外来種スジアカクマゼミの地理的起源に関する研究	平成25年度～	石川県立自然史資料館	動物領域責任者 (076-229-3450)	昆虫類(スジアカクマゼミ)、外来種、東アジア、形態解析、分子系統解析
	外来魚防除対策事業:ため池での外来魚防除指導・支援	平成20年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	里地里山、ブラックバス、ブルーギル、ため池、普及啓発

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-4: 外来生物法の施行状況の検討結果を踏まえた侵略的外来種の特定、定着経路情報の整備、防除の優先度の整理、防除の計画的推進等	外来魚防除対策事業:ため池での外来魚防除指導・支援	平成20年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	里地里山、ブラックバス、ブルーギル、ため池、普及啓発
	三方湖における効果的な外来魚駆除方法に関する研究	平成22年度～	福井県海浜自然センター	0770-46-1101	三方湖、外来魚、ブラックバス、ブルーギル、駆除
	富士山五合目付近の外来植物の分布の現状把握に関する研究	平成26～27年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部 (0555-72-6211)	富士山五合目、外来種
	外来生物に関するモニタリングと普及啓発に関する調査研究	平成26～28年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	外来生物、特定外来生物、長野県
	外来不快害虫ヤンバルトサカヤスデの生態特性	平成21年度～	静岡県環境衛生科学研究所	環境科学部 (054-245-0202)	外来生物、ヤンバルトサカヤスデ、生態、生活史
	市民協働による都市部における生物多様性の保全と外来生物対策	平成23年度～	名古屋市環境局なごや生物多様性センター	環境活動推進課分室 052-831-8104	動物調査と保全対策、水生植物調査、水辺の生きもの調査、生物情報モニタリングデータベース、一斉調査、野鳥、陸貝、オオキンケイギク、甲殻類、アメリカザリガニ、カマキリ
	淀川における外来水生生物の生態調査研究	平成16年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072-833-2770	淀川、外来魚、外来水生植物、駆除
	アライグマモニタリング調査	平成25年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	環境研究部(072-958-6551)	捕獲時計測データ、繁殖状況、出没頻度、被害強度、防護柵設置状況、炭素・窒素安定同位体比分析、食性分析
	外来昆虫の分布拡大に関する調査	平成22年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	半翅類、四国、分布拡大経路
	徳島県におけるナガエツルノゲイトウの分布	平成25年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	特定外来種、分布拡大、農地侵入
外来生物実態調査	平成24年度～	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター(089-931-8757)	外来生物、生息調査	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標B：生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取り組みを進め、持続可能な利用を推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
B-4: 外来生物法の施行状況の検討結果を踏まえた侵略的外来種の特定、定着経路情報の整備、防除の優先度の整理、防除の計画的推進等	福岡県における侵略的外来種の定着状況把握とその影響評価	平成26～28年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課 (092-921-9951)	侵略的外来種、外来種対策、国内由来の外来種、生物多様性、福岡県
	沖縄島北部地域におけるマングース防除事業	平成13年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター (0980-50-1025)	マングース、特定外来生物、防除事業
B-5: 人為的圧力の最小化に向けた取組の推進	生物多様性研究プログラム	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	生物多様性、景観、遺伝情報、リモートセンシング、シナリオ分析、人為的環境攪乱
	温暖化影響モニタリング(高山帯)	平成23年度～	国立環境研究所	環境計測研究センター環境情報解析研究室 (029-850-2983)	高山植物、森林限界、フェノロジー
	生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄
	温暖化影響モニタリング(海洋)	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 生物多様性保全計画研究室 (029-850-2477)	サンゴ、褐虫藻
	富士北麓の蝶類群集の定量的モニタリングによる温暖化影響と衰退種特性の解明	平成24～28年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部 (0555-72-6194)	富士北麓、蝶類群集、温暖化影響、衰退種

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標C：生態系、種子、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
C-1: 陸域等の17%、 海域等の10% の適切な保全・ 管理	生物多様性研究プログラム	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	生物多様性、景観、遺伝情報、リモートセンシング、シナリオ分析、人為的環境攪乱
	生物多様性・生態系の保全に関する基盤的な調査・研究	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	保全、温暖化、侵入生物、自然科学と人文科学の連携
	湿原生態系保全に関する研究(湿原植生定期モニタリング)	平成9年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	ラムサール条約登録湿地、湿原植生、植生モニタリング
	低地泥炭湿原の群落の景観と種組成における地理的変異の把握とその生成機構の解明	平成24～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	低位泥炭湿原、地理的変異、群落景観、群落種組成、水位、水質
	流域の水文化学要因に着目した生態系のつながりの解明～安平川流域の生物多様性の保全及び遊水池利用～	平成25～26年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	安平川湿原、遊水池計画、群落種組成、水文化学要因、鳥類相
	英彦山ブナ林生態系における生物多様性の保全と再生	平成25～27年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課 (092-921-9951)	ブナ林生態系、生物多様性、絶滅危惧種、生態系管理、英彦山
C-2: 絶滅危惧種の絶滅防止と作物、家畜等の遺伝子の多様性の維持等	絶滅危惧生物の遺伝資源・細胞等の保存に関する活動	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	絶滅危惧、鳥類、哺乳類、魚類、藻類、凍結保存、細胞培養、検疫、感染症対策
	生物資源の保存事業	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	絶滅危惧藻類、絶滅危惧野生動物
	希少野生動植物保護対策推進事業	平成14年度～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	北海道生物多様性保全条例、条例指定植物、生育状況モニタリング
	捕獲情報を用いたエゾライチョウのモニタリング手法に関する研究	平成26～27年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部生態系保全G (011-747-3521)	エゾライチョウ、狩猟鳥、希少鳥類、捕獲情報、生息動向モニタリング手法
	イヌワシ個体群の生態的特性および遺伝的構造に関する研究	平成23～27年度	岩手県環境保健研究センター	地球科学部 (019-656-5672)	繁殖成功率、列状間伐、絶滅危惧種、遺伝的多様性

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標C：生態系、種子、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
C-2: 絶滅危惧種の絶滅防止と作物、家畜等の遺伝子の多様性の維持等	希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究	平成24～28年度	岩手県環境保健研究センター	地球科学部 (019-656-5672)	希少植物、種の保存、地域資源としての活用
	特別天然記念物カモシカ保護事業	昭和60年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	ニホンカモシカ、保護
	石川の種の保存推進事業	平成20年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当 (076-255-5321)	県指定野生植物種(オキナグサ・サドルマユリ)
	石川県内の海浜性ハンミョウ類の分布調査	平成24年度～	石川県立自然史資料館	動物領域責任者 (076-229-3450)	昆虫類(イカリモンハンミョウ、ハラヒロハンミョウなど)、絶滅危惧種、生物多様性保全
	レッドデータブック改訂事業	平成24年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	レッドデータブック、絶滅危惧種、希少種
	長野県の生物多様性の総合評価と保全に関する調査研究	平成24～28年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	希少野生動植物、レッドリスト改訂、生物多様性、長野県
	愛知県の希少野生動植物種についての研究	平成24年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	絶滅危惧種、レッドデータブックあいち
	愛知県絶滅危惧種等フォローアップ調査	平成26年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部 (052-910-5489)	レッドデータブックあいち、絶滅危惧種
	遺伝子解析による生物多様性の保全に関する研究	平成24年度～	名古屋市環境科学調査センター	環境科学室 (052-692-8481)	希少種、保全、遺伝的多様性、外来種、組換え植物
	動植物実態調査	平成24年度～	名古屋市環境局なごや生物多様性センター	環境活動推進課分室 052-831-8104	レッドリスト、レッドデータブック、検討会、希少野生動植物、絶滅危惧種
希少魚の保護増殖試験	平成2年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	イタセンパラ、ニッポンバラタナゴ、系統保存	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標C：生態系、種子、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
C-2: 絶滅危惧種の絶滅防止と作物、家畜等の遺伝子の多様性の維持等	大阪府内の河川における魚類資源保全対策事業	平成12年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	希少魚生息調査、ダム、モニタリング
	淡水生物増殖試験	平成15年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	水生植物、ミズアオイ、保護、市民協働
	淀川流域の希少在来魚の保護に関する調査研究	平成20年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水生生物センター 072 833 2770	淀川、イタセンバラ、二枚貝、野生復帰、保全
	希少鳥類の繁殖状況調査	平成20年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	希少鳥類、繁殖
	ダイコクコガネのモニタリング調査	平成20年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	希少昆虫、生息状況、モニタリング
	赤名湿地における動植物調査	平成20年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	自然環境保全地域、湿地、絶滅危惧種
	草原性植物の管理と保全、野外展示物としての管理手法の検討	平成21年度～	鳥根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	草原性植物、絶滅危惧種、草原管理
	フサヒゲルリカミキリ調査	平成16年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	採草地、希少動植物、生活史
	徳島県のタンポポの分布調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	在来種、外来種、都市化、市民参加調査
	徳島県希少野生生物生息状況調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	オヤニラミ、オオウナギ、カワバタモロコ、絶滅危惧種
徳島県の絶滅危惧植物の保護に関する調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	ワタヨモギ、フジバアカマ、シバナ、タコノアシ、モニタリング、分布、保護	



生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標C：生態系、種子、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
C-2: 絶滅危惧種の絶滅防止と作物、家畜等の遺伝子の多様性の維持等	ニッポンバラタナゴの保護	平成17年度～	香川県みどり保全課及び香川県環境保健研究センター	自然環境(087-825-0401)	ニッポンバラタナゴ、遺伝子解析、亜種判別
	カンカケイニラの保護増殖	平成19年度～	香川県みどり保全課及び香川県環境保健研究センター	自然環境(087-825-0401)	カンカケイニラ、人工増殖栽培試験
	特定希少野生動植物保護管理調査	平成27年度～	愛媛県立衛生環境研究所	(089-931-8757)	絶滅危惧種、コガタノゲンゴロウ、生息調査、生息環境要因解析
	オオトラツグミ保護増殖事業	平成11年度～	環境省那覇自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター(0997-55-8620)	オオトラツグミ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、餌生物、生息適地推定
	アマミヤマシギ保護増殖事業	平成11年度～	環境省那覇自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター(0997-55-8620)	アマミヤマシギ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、交通事故、ラジOTEレメトリー
	アマミノクロウサギ保護増殖事業	平成16年度～	環境省那覇自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター(0997-55-8620)	アマミノクロウサギ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、交通事故、自動撮影カメラ
	ノグチゲラ追跡調査業務	平成10年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ノグチゲラ、国内希少種、保護増殖事業、生態
	ヤンバルテナゴコガネ生態調査業務	平成12年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ヤンバルテナゴコガネ、国内希少種、保護増殖事業、生態、生息状況
	ヤンバルクイナ生息状況把握調査業務	平成19年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ヤンバルクイナ、国内希少種、保護増殖事業、モニタリング
	ヤンバルクイナ遺伝的多様性等分析	平成22年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ヤンバルクイナ、国内希少種、保護増殖事業、DNA、血液、遺伝子、多様性、系統
ノグチゲラ遺伝的多様性分析調査	平成25年度～	環境省那覇自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター(0980-50-1025)	ノグチゲラ、国内希少種、保護増殖事業、DNA、血液、遺伝子、多様性、系統	

## 生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標C：生態系、種子、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
C-2: 絶滅危惧種の絶滅防止と作物、家畜等の遺伝子の多様性の維持等	ツシマヤマネコ保護増殖事業	平成7年度～	環境省九州地方環境事務所	対馬野生生物保護センター (0920-84-5577)	痕跡調査・自動撮影カメラ・モニタリング・交通事故対策・地域社会作り・ノラネコ対策
	イリオモテヤマネコ保護増殖事業	平成7年度～	環境省那覇自然環境事務所	西表野生生物保護センター (0980-84-7130)	イリオモテヤマネコ、生息環境、個体数、モニタリング、交通事故、自動撮影カメラ

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標D：生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵の強化

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
D-1: 生態系の保全と回復を通じた生物多様性・生態系サービスから得られる恩恵の強化	<u>しおかぜ自然環境調査</u>	平成26年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物、東北地方太平洋沖地震、津波、復興
	東北地方太平洋沿岸地域植生・湿地変化状況等調査	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	東北地方太平洋沖地震、津波、復興、生物多様性、植生、湿地
	東北地方太平洋沿岸地域生態系監視調査	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	東北地方太平洋沖地震、津波、復興、生物多様性、沿岸域、干潟、アマモ場、藻場、海鳥繁殖地
	東北地方太平洋沿岸地域震災影響評価手法検討業務	平成25年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	東北地方太平洋沖地震、津波、復興、自然環境、影響評価
	<u>戦略的アセスメント技術の開発と自然再生の評価</u>	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	メコン川、湿地生態系、ダムの影響
	<u>生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究</u>	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄
	効果的な水源林の整備に関する研究開発	平成14年度～	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	土砂流出、量水堤、森林整備、水源の森
	スギ・ヒノキ花粉発生源調査	平成21～30年度	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	スギ、雄花、目視、飛散予測、花粉
	無花粉ヒノキの実用化研究	平成27～28年度	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	ヒノキ、雄花、花粉症、林木育種、花粉
	地域特性を考慮した自然公園の空間的利用区分に関する研究	平成24～27年度	山梨県富士山科学研究所	環境共生研究部 (0555-72-6217)	自然公園、空間的利用区分、地域特性
生態学的にみた共生の現実と未来	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	鳥類、魚類、水生昆虫、生物多様性保全	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標D：生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵の強化

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
D-1: 生態系の保全と回復を通じた生物多様性・生態系サービスから得られる恩恵の強化	生物多様性保全のための都市林および里山林の生態学的研究	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	都市林、里山林、自然再生、市民参加
	有機栽培圃場の生物多様性調査	平成21年度～	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター(089-931-8757)	水稲、有機農業、水生生物、個体数調査、モニタリング
D-2: 劣化した生態系の15%以上の回復等による気候変動の緩和と適応への貢献	森林生態系炭素収支モニタリング	平成12年度～	国立環境研究所	地球環境研究センター 陸域モニタリング推進室 (029-850-2517)	二酸化炭素収支、バイオマス、フェノロジー、AsiaFlux、土壌呼吸、JaLTER(日本長期生態系研究ネットワーク)、
	釧路湿原にて超高密度化状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術	平成26～28年度	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部環境科学研究センター	自然環境部保護管理G (011-747-3521)	エゾシカ、タンチョウ、湿原植生、生態系管理、個体群管理
	丹沢大山の自然環境モニタリングと再生技術開発	平成19年度～	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課 (046-248-0321)	丹沢、ブナ、衰退、オゾン、大気汚染、ブナハバチ
	長野県における気候変動適応推進に向けた情報整備に関する調査研究	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	気候変動影響、適応策、モニタリングネットワーク、適応プラットフォーム
	地方都市におけるヒートアイランド現象の緩和策に関する調査研究	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部 (026-239-1031)	ヒートアイランド、気候変動、都市域、数値シミュレーション
	市民の環境配慮行動の促進に関する	平成27～29年度	長野県環境保全研究所	自然環境部(026-239-1031)	気候変動、温室効果ガス削減、環境配慮

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	自然環境保全基礎調査(植生調査)	昭和48年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	現存植生図、植生自然度、組成調査、優占種調査、環境省統一凡例、ALOS
	自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木林調査)	平成1年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	巨樹・巨木林、幹周、計測調査、情報更新
	自然環境保全基礎調査(哺乳類等生息状況調査)	平成20年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	ヒグマ、ツキノワグマ、シカ、サル、イノシシ、全国個体数
	要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査	平成27年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	ヒグマ、ツキノワグマ、アライグマ、ヌートリア、ハクビシン、マガン、生息分布
	国際連携による地球規模生物多様性モニタリング体制の構築支援 地球規模生物多様性モニタリング推進	平成21年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	国際連携、人材育成、生物多様性インベントリー、生物分類学キャパシティ・ビルディング
	沿岸域変化状況把握調査	平成22年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	調査科 (0555-72-6033)	沿岸域、砂浜、泥浜、海浜植生、改変
	ガンカモ類の生息調査	昭和45年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科 (0555-72-6033)	ガンカモ類、個体数調査、越冬期、冬季、渡来地、渡来数、生息状況、全都道府県
	鳥類標識調査	環境省事業としては昭和46年～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科 (0555-72-6033)	鳥類、標識調査、バンディング、再捕獲、鳥類観測ステーション、金属足環、鳥類アトラス、山階鳥類研究所
	モニタリングサイト1000ガンカモ類調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科 (0555-72-6033)	湖沼、ガンカモ類、個体数調査、モニタリング
	モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科 (0555-72-6033)	干潟、シギ・チドリ類、個体数調査、モニタリング
モニタリングサイト1000海鳥調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科 (0555-72-6033)	小島嶼、海洋、海鳥、個体数調査、繁殖数調査、モニタリング	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	モニタリングサイト1000森林・草原調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	森林、草原、樹木、毎木調査、リター、地表徘徊性甲虫、陸生鳥類
	モニタリングサイト1000陸生鳥類調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科(0555-72-6033)	森林、草原、陸生鳥類
	モニタリングサイト1000里地調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	里地里山、植物相、鳥類、ほ乳類、水環境、カヤネズミ、ホタル、カエル、モニタリング
	モニタリングサイト1000陸水域調査	平成19年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	陸水域、湖沼、湿原、抽水植物、沈水植物、浮葉植物、魚類、底生生物
	モニタリングサイト1000沿岸域調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	沿岸域、磯、干潟、アマモ場、藻場、サンゴ礁、底生生物、海草、海藻、オニヒトデ、白化
	モニタリングサイト1000サンゴ礁調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	保全科(0555-72-6033)	沿岸域、サンゴ礁、海草、海藻、オニヒトデ、白化
	モニタリングサイト1000ウミガメ調査	平成16年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	砂浜、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、上陸回数調査、産卵回数調査、モニタリング
	モニタリングサイト1000高山帯調査	平成20年度～	環境省自然環境局生物多様性センター	生態系監視科(0555-72-6033)	高山、風衝草原、雪田群落、ハイマツ、高山蝶、地球温暖化
	造礁性イシサンゴ類の分子系統および化石と現世の形態多様性に基づく分類体系の再構築	平成22～26年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 生物多様性保全計画研究室(029-850-2477)	造礁性イシサンゴ類、分類体系
	生物多様性研究プログラム	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	生物多様性、景観、遺伝情報、リモートセンシング、シナリオ分析、人為的環境攪乱
	生物多様性・生態系の保全に関する基盤的な調査・研究	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	保全、温暖化、侵入生物、自然科学と人文科学の連携

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	<u>長期環境モニタリング</u>	期間設定無	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	霞ヶ浦、摩周湖
	<u>生物多様性・生態系情報</u>	平成23～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	淡水魚類データベース、ため池、世界の淡水水質
	<u>生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全策に関する研究</u>	平成25～27年度	国立環境研究所	生物・生態系環境研究センター 広報室(029-850-2894)	島嶼、赤土流出、沖縄
	第4期第4次総合調査(八溝山地、阿武隈山地、県北部海岸を中心とした県北地域)	平成27～29年度	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	資料課(0297-38-2000)	茨城県、動物、植物、菌類、古生物、地質、岩石
	<u>群馬県奥多野及び周辺地域の自然史調査</u>	平成26～28年度	群馬県立自然史博物館	学芸係(0274-60-1200)	動物、植物、菌類、古生物、地質、岩石
	自然環境データベースもGISによる構築・運用－森林変遷の把握と温暖化緩和機能の評価－	平成25～26年度	埼玉県環境科学国際センター	温暖化対策担当0480-73-8331	GIS、データベース、土地利用変遷、リモートセンシング、植生図
	<u>生物多様性地理情報システムの構築及びデータ整備</u>	平成18年度～	千葉県生物多様性センター	(043-265-3601)	生物分布情報、三次メッシュ、生物多様性評価、データベース
	<u>地域研究課題：地球誌系</u>	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、地質学、地形学
	<u>地域研究課題：生命誌系1</u>	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、生物相、分類学
	<u>地域研究課題：生命誌系2</u>	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、生態学
<u>地域研究課題：人類誌系</u>	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、歴史学、民俗学	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	地域研究課題:博物館誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	千葉県、博物館学
	普遍研究課題:地球誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	地質学、地形学
	普遍研究課題:生命誌系1	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	生物相、分類学
	地域研究課題:生命誌系2	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	生態学
	地域研究課題:人類誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	歴史学、民俗学
	地域研究課題:博物館誌系	平成19年度～	千葉県立中央博物館	043-265-3111	博物館学
	房総丘陵の自然 過去、現在、未来	平成24～27年度	千葉県立中央博物館	043-265-3111	房総丘陵、地学、動物学、植物学
	生物生息状況モニタリング(海域および河川生物相調査)	昭和48年度～	横浜市環境創造局環境科学研究所	045-752-2605	モニタリング 海域 河川
	生物生息状況モニタリング(陸域生物調査)	平成24年度～	横浜市環境創造局環境科学研究所	045-752-2605	モニタリング 陸域
	重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)高山帯調査事業費	平成21年度～	石川県白山自然保護センター	研究普及担当(076-255-5321)	高山帯、永久方形区での植生調査、温度測定、ハイマツ成長量調査、開花状況調査、チョウ類調査、地表徘徊性昆虫調査
九十九湾周辺における気象と水質	平成6年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課(0768-74-1919)	石川県、九十九湾、気象・水質、定期観測	



生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	砂浜海岸モニタリング調査	平成11年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課 (0768-74-1919)	石川県、海岸改変、波打ち帯、砂粒度
	砂浜海岸の底生動物モニタリング調査	平成19年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課 (0768-74-1919)	石川県、波打ち帯、底生動物、生息状況
	岩礁海岸モニタリング調査	平成20年度～	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課 (0768-74-1919)	石川県、海岸改変、潮間帯、動植物、生息状況
	石川県立自然史資料館周辺自然史総合調査	平成20年度～	石川県立自然史資料館	館長 (076-229-3450)	エコミュージアム、植物相、植生相、動物相、気候、地質、人間活動
	石川県立自然史資料館長中期調査研究計画策定事業	平成21年度～	石川県立自然史資料館	館長 (076-229-3450)	自然史GIS、植物相、動物相、生活環、植生相、地理分布、気候、地質
	石川県立自然史資料館標本等収集整理事業	平成21年度～	石川県立自然史資料館	植物、動物、各領域責任者 (076-229-3450)	標本収集、標本整理、データベース作成運用
	シロアリ類およびゴキブリ類の生態に関する研究	平成23年度～	石川県立自然史資料館	動物領域責任者 (076-229-3450)	昆虫類(ヤマトシロアリ、オオゴキブリなど)、社会生態、木材害虫、生物多様性保全
	石川県立自然史資料館周辺の植物季節観測	平成24年度～	石川県立自然史資料館	植物領域責任者 (076-229-3450)	生活史、エコミュージアム、植物相、気候
	石川県立自然史資料館収蔵植物標本等のデジタル情報化整備	平成24年度～	石川県立自然史資料館	植物領域責任者 (076-229-3450)	データベース、生物分布情報、生物多様性
	石川県における草本植物の分布に関する研究	平成21年度～	石川県地域植物研究会 (石川県自然史センター) (石川県立自然史資料館)	石川県自然史センター専務理事 長 (076-229-3450)	石川県、草本植物、植物地理学的研究、GIS化
洞窟性希少生物現況調査[石川県金沢市内の山川石切丁場(山川町地内)、額谷石切丁場(額谷町地内)の生息状況]	平成26～27年度	石川県自然史センター (石川県立自然史資料館)	館長 (076-229-3450)	コウモリ類・中型哺乳類・ネズミ類及びモグラ類・両生爬虫類の洞窟利用調査、調査地域による自然環境保全への提言	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	鳥類生息調査事業:ガンカモ科鳥類生息調査	昭和48年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	鳥獣保護区、渡り鳥、モニタリング、ガンカモ類、個体数調査
	鳥類生息調査事業:渡り鳥保全調査	昭和55年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	鳥獣保護区、渡り鳥、モニタリング、個体数調査
	野生生物同定調査事業:自然観察の森周辺環境調査	平成2年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	植生、鳥類、昆虫類、哺乳類、生物多様性
	鳥類生息調査事業:カワウ生息調査	平成19年度～	福井県自然保護センター	0779-67-1655	カワウ、モニタリング、個体数調査
	リモートセンシングと地上探査を用いた富士山森林限界の広域的構造と動態に関する研究	平成25～28年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部(0555-72-6211)	富士山、森林限界、植生動態、リモートセンシング
	山梨のジオ情報を活用した地域環境特性に関する研究 ～暮らしやすい安全安心なまちづくりのために～	平成24～28年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部(0555-72-6211)	山梨、ジオ情報、地域環境特性
	富士五湖・湖底堆積物の有機地球化学分析による自然環境変遷史の復元	平成25～27年度	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部(0555-72-6190)	富士山、富士五湖、湖底堆積物、古環境
	衛星データによる土地被覆情報把握の高度化	平成27～29年度	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部(0555-72-6187)	衛星データ、土地被覆情報
	長野県の生物多様性の総合評価と保全に関する調査研究	平成24～28年度	長野県環境保全研究所	自然環境部(026-239-1031)	希少野生動植物、レッドリスト改訂、生物多様性、長野県
	高山帯における生態系モニタリングの推進に関する調査研究	平成25～27年度	長野県環境保全研究所	自然環境部(026-239-1031)	高山生態系、モニタリング、ニホンジカ、ライチョウ、高山植物、残雪、植物フェノロジー、爺ヶ岳、木曾駒、茶臼岳(南ア)、八ヶ岳、御岳山、長野県
愛知県鳥類生息調査	平成22年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	定点調査、個体数調査	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	ガンカモ類生息調査	平成22年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	ガンカモ類、個体数調査
	油ヶ淵における生物多様性モニタリング手法の開発	平成26年度～	愛知県環境調査センター	企画情報部(052-910-5489)	油ヶ淵、水生植物
	(大阪湾)生物モニタリング調査	平成2年度～	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水産技術センター(072-495-5252)	藻場、底生動物、底質
	兵庫県の動植物相の解明	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	兵庫県、動物、植物、標本収集
	古写真とその記憶等の収集による地域景観の評価に関する研究	平成22年度～	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室(079-559-2001)	古写真、地域景観、環境計画、地域づくり
	東郷池の環境改善に向けた水生植物の再生に関する研究	平成27年度～平成28年度	鳥取県衛生環境研究所	水環境対策チーム(0858-35-5417)	生物多様性、生態系、水生植物、シードバンク
	ふれあいの里奥出雲公園生物調査	平成20年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	植生、鳥類、昆虫類、ほ乳類
	三瓶山北の原におけるチョウ類調査	平成22年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	三瓶山、チョウ
	島根県で新種発見されたゲンセイ調査	平成22年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	クロゲンセイ、新種昆虫
	全国一斉樹木フェノロジー調査	平成22年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	樹木、フェノロジー
隠岐諸島における沿岸生態系に関する基礎調査	平成23年度～	島根県立三瓶自然館(公益財団法人しまね自然と環境財団)	学芸課(0854-86-0500)	隠岐諸島、ジオパーク、沿岸生態系、底生生物	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の尊重、科学的基盤の強化、科学と政策の結びつきの強化、愛知目標の達成に向けた必要な資源(資金、人的資源、技術等)の効果的・効率的動員	ブナ調査	平成17年度～	岡山県自然保護センター	(0869-88-1190)	ブナ林、毎木調査、実生、更新、モニタリング
	徳島県の自然史研究	平成2年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	動物、植物、地学
	徳島県のタンポポの分布調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	在来種、外来種、都市化、市民参加調査
	徳島県希少野生生物生息状況調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	オヤニラミ、オオウナギ、カワバタモロコ、絶滅危惧種
	外来昆虫の分布拡大に関する調査	平成22年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	半翅類、四国、分布拡大経路
	徳島県におけるナガエツルノゲイトウの分布	平成25年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	特定外来種、分布拡大、農地侵入
	徳島県の絶滅危惧植物の保護に関する調査	平成20年度～	徳島県立博物館	自然課(088-668-3636)	ワタヨモギ、フジバアカマ、シバナ、タコノアシ、モニタリング、分布、保護
	モニタリングサイト1000里地調査	平成20年度～	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター(089-931-8757)	里地里山、水環境、モニタリング
	福岡県生物多様性戦略推進のための生物多様性指標の開発	平成26～28年度	福岡県保健環境研究所	環境生物課(092-921-9951)	生物多様性、生物多様性評価、保全、環境健全度評価、環境教育
	底生生物調査	平成4年度～	福岡市保健環境研究所	環境科学課(092-831-0697)	底生動物、環境評価、福岡市内の河川
県南調査(動物) 県南地域の動物相について	平成23～26年度	宮崎県総合博物館	動物部門(0985-24-2071)	鳥類、底生動物	

生物多様性国家戦略2012-2020で示された「愛知目標の達成に向けた我が国の国別目標」に基づくテーマ別一覧

戦略目標E：生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築の推進

国別目標	課題(テーマ)名	実施期間	実施機関	担当部署 (連絡先電話番号)	キーワード
E-2: 伝統的知識等の 尊重、科学的基 盤の強化、科学 と政策の結びつ きの強化、愛知 目標の達成に向 けた必要な資源 (資金、人的資 源、技術等)の 効果的・効率的 動員	県南調査(植物) 県南地域の海岸植物	平成23～26年度	宮崎県総合博物館	植物部門 (0985-24-2071)	海岸植物
	県南調査(地質) 県南地域の地質	平成23～26年度	宮崎県総合博物館	地質部門 (0985-24-2071)	23年度;オパキュリナ、砂岩層、貝化石層